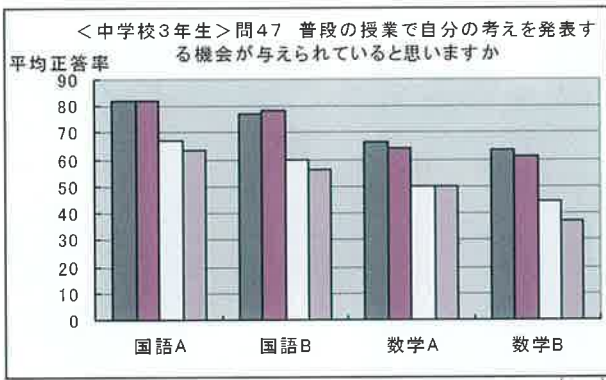


# 規範意識・基本的生活習慣と 学力に相関関係

質問紙調査において、肯定的な回答をした児童生徒の方が、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向が見られる項目があります。

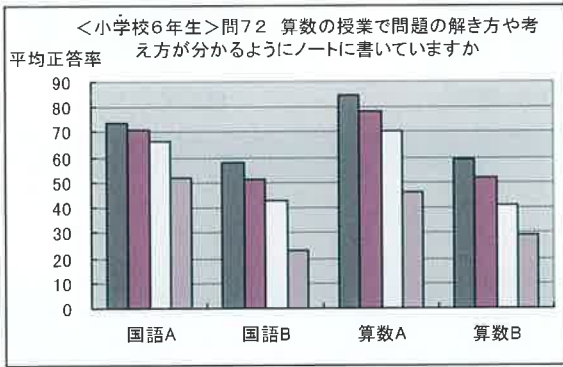
## 小学校・中学校共に相関が見られる質問項目

「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」（表4）「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていま



(表4)

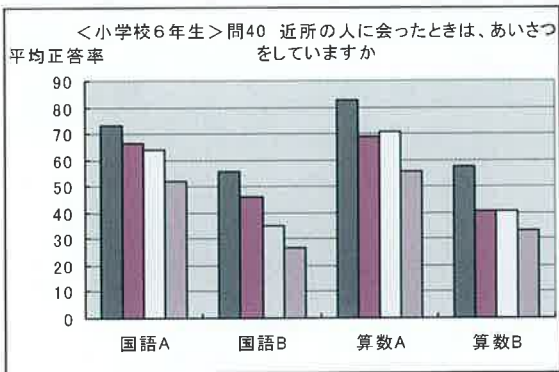
小学校については相関が見られる質問項目  
次の2つの項目(表6・7)で、正答率との相関関係が強く見られます。  
この他にも「友達との約束を守っていますか」「毎日同じくらの時刻に寝ていますか」「家の



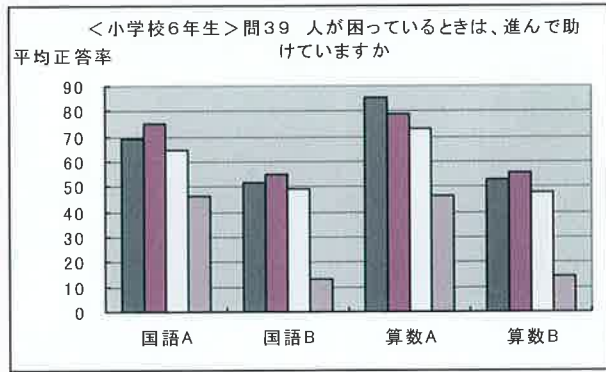
(表5)

見られます。肯定的な回答をした生徒と、否定的な回答をした生徒の正答率の差が大きく、相関関係が強く見られます。

手伝いをしていますか」など、基本的生活習慣・社会や家族の一員としての意識に關係する項目で相関関係が見られます。



(表7)

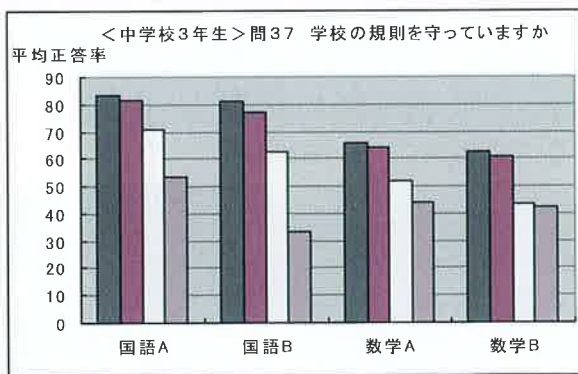


(表6)

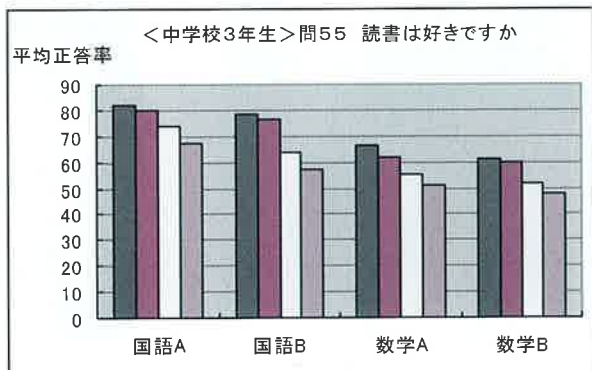
中学校については相関が見られる質問項目

「学校の規則を守っていますか」（表8）「読書は好きですか」（表9）の項目は、小学生においては相関は強く見られませんが、中学生においては強く相関が見られます。

この他にも、「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」「家や学校の宿題をしていますか」「新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか」という項目でも



(表8)



(表9)

正答率との相関関係が強く見られます。

**地域全体で取り組みを**  
基本的生活習慣、規範意識、地域や家族の一員としての意識などは、学力と強い相関関係があります。学力が全てではありませんが、子どもたちの夢の実現や将来の選択肢を広げるためには欠かせないものです。保育所・学校と家庭、地域全体で、子どもたちのための取り組みを強めましょう。

### 回答の内容

- 1 肯定
- 2 どちらかといえば肯定
- 3 どちらかといえば否定
- 4 否定